

提出案件の概要

報告第1号 令和2年度神栖市立図書館事業報告

1 図書館資料の貸出し

コロナ対策のための臨時休館により年間の利用者数が減ったが、一日当たりの資料貸出数や利用者延べ人数などは例年と比べてもそれほど減少していない。コロナ禍であっても市民の図書館に対する需要は高いと考えられる。

7 児童サービス、8 青少年サービス

新規の行事として、本のお楽しみ袋（児童サービス）、Happy books（青少年サービス）を実施した。絵本や低学年向けなど人気のあるテーマは利用が多く途中で追加することが多かった（児童サービス）、準備したセットは全て貸出しされた（青少年サービス）

9 行事の開催

基本方針「地域の文化活動を支援するとともに、催し物など情報発信に努めます。」に基づき、市民の参加を促し、図書館を地域に広くPRして新たな来館者を開拓するとともに、ミニコンサートや作品展など市民の交流の場としての利用を積極的に促しているが、コロナ対策のため、多くの行事を中止とした。

12 健康・医療情報サービス

うずも図書館に2016年からがん情報コーナーを設置し、国や県、各種関係団体発行のがんに関する資料を配布している。また、新規事業として令和2年度は図書リストを発行し、ホームページに掲載した。

報告第2号 学校★(ほし)ほんお届けサービス

昨年度の試行と比較すると、今年度開始した波崎地区の学校は利用が少ない傾向だったため、当初の計画より前倒しで波崎地区の希望校は全て開始できた。今後は、更に利用が増えるよう学校と連携し児童生徒へのPRに努めたい。

報告第3号 中央公民館図書室フリースペース化の検討

中央公民館図書室を市民の自主学習、読書等をするためのスペース、また予約した図書館資料の受渡し・返却を行うことができるサービスポイントとしての活用を図る。

検討の理由

- ・中央図書館、中央公民館の両施設の利用者から自主学習スペース不足のため、要望が年々増加している。
- ・中央公民館図書室は、立地面や資料の充実度から中央図書館等に来館するため、利用者が著しく減少している。

（参考：【2009年】貸出数7.5人、20.7冊/日 → 【2020年】貸出数1.6人、8.7冊）

対応方針

市の懸案事項として提出し、今後、中央公民館と調整しながら整備を図っていく。